

農林水産大臣賞

部 門 畜産

氏 名 ふくだ ひろし
福田 寛

住 所 琴浦町筥津

[経営の概要と受賞理由]

○経営形態、経営体の性格

牛乳生産と子牛販売収入を組み合わせた酪農（家族経営）

○経営基盤

- ①労働力 経営主、妻、父、母、従業員1名、技能実習生1名
- ②経営規模 乳牛224頭（うち搾乳牛114頭）、自給飼料1,700a
- ③生産品目 生乳、廃用牛、子牛

○生産技術等の特徴

- ① 農地中間管理事業の活用により農地の集積を行い、飼料用トウモロコシ 1,700a を栽培することで飼料コストの削減に努めている。
- ② 乾乳・育成牛舎を新設し、牛群管理を効率化することで、育成牛の疾病による廃用が少ない。
- ③ 性判別精液の活用により後継牛を確保するとともに、和牛受精卵も積極的に活用して副産物収入につなげている。

○経営管理、地域活動等

- ① 牛舎敷地内にトイレを設置し、技能実習生（女性1名）の住居（冷暖房完備）を整備して女性の働きやすい環境を整えている。
- ② 牛舎内に暑熱対策のサイクロン（大型扇風機）を県内でいち早く導入。電気代の節約に貢献。

○農林水産大臣賞の受賞理由

- ① 生乳生産を経営の柱とし、搾乳を終えた廃用牛及び生乳生産の過程を利用して生産した子牛の販売で副収入を確保し、安定した経営を行っており、農業経営者として極めて優秀である。
- ② 餌高騰の対策としても、自家生産した自給飼料を給与することで、資源の循環とコストカットを実現している。
- ③ 常時雇用や外国人技能実習生の受入れにより労働力を確保し、高い乳質を実現しており、無駄のない経営で中規模酪農経営の模範となっている。